

# 子ども夢フォーラム

## News!

NPO(非営利任意団体)  
2015.7.15 (No.90)

【隔月発行】発行責任者：高木真理子

梅雨に入り、毎日、蒸し暑いですね。

7月に入って最高気温が6月並みと涼しい感じでしたが、今は37度と猛暑の日々！

一気に真夏到来は体にほんと、こたえますね。体調管理の難しいこの頃です。

子どもたちは、土日や祭日の関係で例年より三日も早く17日から夏休み～！

お母さんたちの昼食の段取りに追われる日々にお疲れ様～！

家庭菜園をしていらっしゃる方には、うれしい夏野菜の収穫時期ですね。

おいしい野菜をたっぷり摂り、

たまには焼肉・ウナギなどで力を蓄えなくっちゃ、ですよええ。



食べ過ぎ、冷え過ぎ  
熱中症にご注意！



「暑いですねえ」が挨拶がわりの日々、皆様、お元気でしょうか^^。

## 受け手養成講座、まもなくスタートです！

今年度のチャイルドライン受け手養成講座がまもなくスタートします。

初回は、公開講座です。ご興味のある方どなたでもご参加いただけます。

### <公開講座>

「子どもに耳を傾ける」  
～子どものパートナーを志して～

講師：多田 元 氏

(弁護士、NPO 法人子どもセンターパオ理事長)

日 時：7月25日(土) 13:30～15:30

会 場：いしかわ子ども交流センター大研修室

参加費：500円

その後、受け手養成講座は、下記の日程でおこないます。

8/1、8/22、9/5、9/26、10/3(すべて土曜日)

◆時間はいずれも10時～15時半◆

※今回は、1日に2コマの予定を組んでいます。

準備の都合上、できるだけ事前のご連絡へのご協力をお願いいたします。

コミュニケーションが苦手、人と関われない、児童虐待、DV(ドメスティックバイオレンス)、非行、自傷行為、自殺、殺人、貧困、ひきこもり、いじめ、不登校、失業、子どもを取り巻く社会は、子どもの生きづらさの象徴として複雑に絡み合っています。即効性は期待できないけれど、いろんな人が自分のできる方法を探して、めげずに絡み合った糸をほぐしていくしかないのかもしれない。多田先生の講演は、子どもを知ろうとすること、そして、どう耳を傾ければいいのか、貴重な気づきを示唆していただける機会になると思います。



# いじめ問題など子供の SOS に対する 文部科学省の取り組み

24時間子供 SOSダイヤル  
**0570-0-78310**  
なやみ言おう

ことし2月がつ、神奈川県川崎市で中学校1年生の男子生徒が、少年たちに殺される事件がありました。この生徒が学校の外でどんな問題で悩んでいたのか、周りの大人はよくわかっていませんでした。文部科学省は、今まで「24時間いじめ相談ダイヤル」という電話で、子どもからいじめについて相談を受けていました。文部科学省は、この電話を「24時間子どもSOSダイヤル」に変えることにしました。そして、いじめだけではなく、悪いグループに入ってしまったとか、友達が困っているなど、子どものいろいろな悩みを聞くことにしました。電話番号は「0570-0-78310」で、24時間相談することができます。

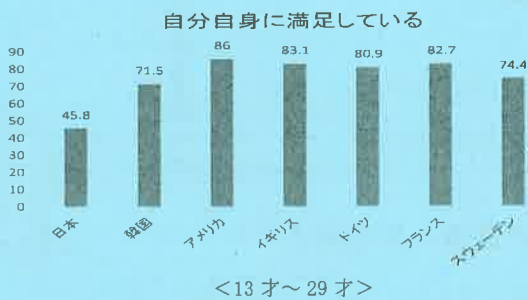
「いじめなど子供の SOS の相談窓口」をクリックすると、下のほうにチャイルドラインも載っています。

24時間いじめ相談ダイヤル ➡ 24時間子どもSOSダイヤルに！  
名称をかえ、対応を拡げた効果はいかに・・・  
各県で対応される職員には、研修などが増えるでしょうし、ご苦労の多いことと思います。



最近あった  
岩手の中学生の死も  
残念でなりません。

## H26 子ども若者白書から 今を生きる若者の意識 ～国際比較から見えてくるもの～



自分には長所がある 68.9%・・・最下位  
「やる気がでない 76.9%」、「悲しい 72.8%」、  
「ゆううつ 77.9%」と感じた・・・いずれも最高位

白書では、自己肯定感、意欲、心の状態の3点から比較しています。諸外国と比べて自己肯定感が低く、うまくいかかわからないことに意欲的に取り組むという意識が低く、つまらない、やる気が出ないと感じる若者が多い。また、諸外国と比べて、悲しい、ゆううつだと感じている者の割合も高い、という結果がでています。

## 小児病棟で

今年度も  
“ホットサロン”スタートです！

簡単な工作をしながら、息を抜けるひと時になれば幸いと、おじゃましています。入浴の時間を変更してサロンで過ごしてくださった親子もいました^^。



## 【親と子のリレーションシップ 2015 in とやま】

親と子のいいカンケイってなあ～に！  
～子ども・若者の声に耳を傾けて～  
日時／10月24日(土) 9:30～17:00  
会場／富山県民共生センター  
～チラシは次回に同封させていただきます～

2013年の福井大会に関わった福井大学BBS(※)は、  
昨年石川大会で、金沢大学BBSとつながり、今年富山BBSの学生の参加へとその輪は広がってきました。



アガパンサス  
(別名：紫君子蘭)

「親と子のリレーションシップほくりく」  
のシンボルの花(別名：ムラサキクンシラン)  
は今が見ごろです^^。

※BBS(Big Brothers and Sisters Movement)は、  
その名のとおり、少年少女たちに、同世代の、  
いわば兄や姉のような存在として、一緒に悩み、  
一緒に学び、一緒に楽しむボランティア活動です。



## 「児童虐待と癒されない傷」 ～愛着障がい&発達障がいを中心に～

友田明美氏講演より / 5月30日

(福井大学子どものこころの発達研究センター教授)

人間関係がむすかしくなった要因は、人々のモラルの低下や人間関係をつくる力の低下であることが厚生労働省のデータにあること。子ども時代に受けた虐待の影響は、人生のあらゆる時期に様々な形となって表れること。  
“ことばの暴力”を侮らないで！  
暴言を浴びつづけて育つと脳にダメージ（聴覚野）を及ぼす。強い体罰は、子どもの脳に大きく影響する。

虐待の傷は、何年もあとに、形になって影響が出てきています。ずっと尾をひきます。

### <成人後の精神疾患>

- ・うつ病
- ・アルコール・薬物依存
- ・PTSD (心的外傷後ストレス障害)
- ・統合失調症
- ・解離性同一性障害
- ・境界性人格障害

### <児童虐待の加害者>

母親：63%  
父親：22%

子育てを担っているのがおもに母親だから、母親の数字が高いのは当然。

ノートに書き留めたことをご報告させていただきます。



脳への影響により成人後も様々な疾患として表れること理解しました。どの講演もわかりやすくお話しくださったこと、頑張って時間をつくって出かけた甲斐があり良かったです^^。

## 「何が非行に追い立て、何が立ち直る力となるか」

講演より / 6月27日

春野すみれ氏 (「非行」と向き合う全国ネット事務局長)

小笠原彩子氏 (弁護士・NPO法人非行克服支援センター理事)

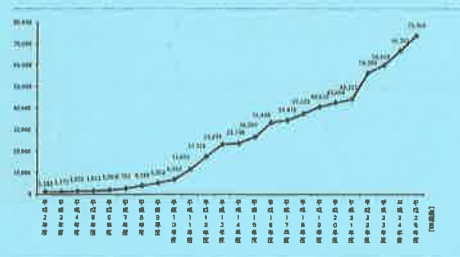
我が子の非行を体験した215人の親へのアンケートと、42人の元非行少年たちへのインタビューなどで構成されている同名の著書(2014年新科学出版)を基に、発行に携ったお二人のお話はとても興味深かった。

- ・子どもは、辛い中で責められて、より悪くなっていく
- ・少年院教育は、一人一人の子どもにあった接し方であること。
- ・出会いは、新たな生まれなおしに・・・。
- ・信じてもいい大人がいるんだという気づき、実感
- ・会話をする(多角的に右往左往しながら)で自分をふりかえることができた

- ・学校はとても疲れるところ→「ま、いくか」  
→折り合いをつけながら。
- ・折り合いをつけられない子は→生活指導を受ける  
→放逐される
- ・お母さんは必至で生きている・・・子どもの非行にパニック！  
(真面目に過ごしてきた人)

生きづらい社会の中で、子どもが必死で生きていることに想いを馳せなくてははいけない！

平成25年度に全国の児童相談所に対応した児童虐待対応件数 73,765件 (速報値)



児童虐待のそばにDVがあります。子どもを目にとめる余裕のない中で、子どもたちはそれでも親を気遣って生きています。

相手を思いやることは、愛情をもって育てられたという実感の上に積みあがっていくものだと思います。

沸き起こる小さな葛藤の置き所が見当たらないまま、やがて将来大きな葛藤として表出するのではないのでしょうか。

### <会費振込お礼>

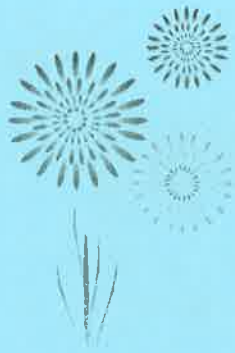
平成27年度(2015.5月以降)

高澤沙織様、逸見王紀子様、安田幸子様、渡瀬春雄様、魚屋祐子様  
轟千栄子様、坂井美津江様、広岡立美様、坂尻他津子様、西村依子様

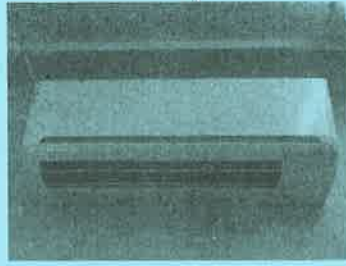
ほか4名



気に留めていただいていることに深く感謝申し上げます！



新しい空調機が  
やってきました！



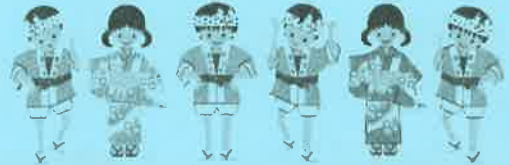
これまでは、古い空調機を扇風機やストーブと併用してなんとか使っていましたが、このたび金沢百万石ロータリークラブ様のご尽力により、RC本部への申請が通り、空調機を一新することが叶いました(\*^\_^\*)v 感激です！

ボランティアのみなさんが、気持ちよく活動をして頂くための環境はとても重要です。本当に良かったです。気に留めていただいたことに感謝です。

【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★  
0120-99-7777 (16時～21時)

《いしかわは、金曜日と土曜日に受けています！》



- 6月 20日 (土) パパ子育て講座 (白山)
- 27日 (土) " (小松)
- 7月 1日 (水) ホットサロン
- 2日 (木) かけがえない命を守るネットワーク
- 4日 (土) カード送付作業
- 6日 (月) 打合せ
- 10日 (金) 講演
- 11日 (土) パパ子育て講座 (金沢)
- " 「親と子のリレーションシップほくりく」総会
- 15日 (水) 支え手継続研修
- 18日 (土) 母と子のこころのサロン
- 21日 (月) 委員会
- 22日 (水) 金沢市男女共同参画審議会
- 23日 (木) 金沢こども見守りネットワーク代表者会議
- 25日 (土) 受け手養成講座公開講座
- 26日 (日) 女性と子ども支援ネットワーク定例会
- 8月 1日 (土) 受け手養成講座②③
- 7日 (金) かけがえない命を守るネットワーク
- 22日 (土) 受け手養成講座④⑤
- 30日 (日) 北陸近畿エリア会議 (京都)
- 9月 5日 (土) 受け手養成講座⑥⑦

カードの発送、今年も実施しました！

今年度も、小中高校全員分のチャイルドラインのカードの発送を完了しました！  
県内の市町教育委員会様には各校への配布のご協力に感謝申し上げます。送料節約のため、手分けして届けているところもあります。  
そして今回も、ファミリーマートさんの県内全店舗にカードとポスターを置いていただけのご協力も頂いています。ファミマに行かれた際は、ぜひ目にとめていただければと思います。



「パパママ・ホットライン」

火 水 木 金 (10時から15時)

076-214-5686

北陸近畿エリア会議では、商標基準の改定や、データベース入力項目の変更についてなど、時間をかけて話し合います。他のエリア会議でも同様の内容で討議し、全国規模の運営者会議等に積み上げていきます。

～豊かな子どもの未来のために～  
〈子ども夢フォーラム〉

NPO (民間非営利団体)

〒921-8101  
石川県金沢市法島町11-8  
いしかわ子ども交流センター2階  
TEL/FAX 076-214-5680  
URL <http://www.yumeforum.org>  
E-mail [kodomo@yumeforum.org](mailto:kodomo@yumeforum.org)  
郵便振替口座 00700-5-46262

◆ゆうちょ銀行から振込みされる場合◆

記号13130/番号1386731/子ども夢フォーラム

〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。

子どもの声からの気づき  
することも重要と捉え、



きを大人社会にフィードバック

「パパママ・ホットライン」や「パ

大人の話を受けとめる「パパ

ママ子育て講座」など、様々な活

動を展開しています。

同時に他団体とのネットワーク

も大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思ひます。